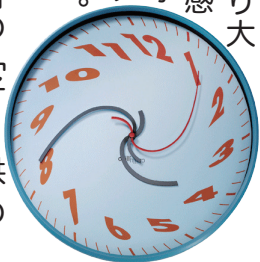


パソコンから教室新聞

先月の信州大学の入学式で、学長からの祝辞がちょっとした話題になっていました。「スマホやめますか、それとも信大生やめますか。…さて中身は？」

時間の記憶

時間の記憶は、子供の頃より大人になっただけの方が早く感じられます。それは年を追う毎に早くなっている感じですか。みんなさんもそんな感覚でしょうか。
(あっとい間に師走…とか)



学長の挨拶には、ある脳学者の「子供の時は、することを見るものが新しく、その時の記憶がより細かく詳細になっているので、時間の感覚がゆっくり感じられ、それが大人になり慣れてくると、そこまで情報を取り込まなくても理解できるようになるので、記憶がそこまで詳細にならず時間が早く感じる」を引用されていました。

そして、自らが時間的、心理的にゆとりをもつてゆっくり考える事こそ「独創性」を育てる。そのためには、時間を有効利用するために、時間の流れを遅くする必要がある、と。その障害の一つとなっているのが「スマホ」だといいます。その中の慣れきった環境の中にいると、時間の感覚が早くなり、十分考えることができなくなると、述べられてました。

で、「スマホやめますか…」となったわけですから、**5**つの提唱、時間を有効に使う、時間を遅くするための方法とは…。

- ① 学び続ける
- ② 新しい場所に行く
- ③ 新しい人に会う
- ④ 新しいことを始める
- ⑤ 感動を多くする



スマホやパソコンを用いても5つのことはできると思います。②の新しい場所に行く、④の新しい人に会うは、ちょっとやりにくいですが、学びや感動は可能です。学び続けることによって、今までできなかったことができるようになり、感動する、新しいことを覚える、などです。ITの世界は日進月歩でどんどん新しいことが出てきます。理解して使うには、それ

なりの努力が必要になりますが、使い方を調べる、失敗しながらでもとにかく使ってみる、わからないところを詳しい人に尋ねてみる、まさに、これは自分で考え行動することだと思えます。パソコンやスマホは、生活を便利にしてくれる道具、きっかけに過ぎません。頼っきりはたしかによくありませんが、上手に付き会ってこんな便利なものもあります。

こんな研究も…

イェール大学(アメリカ)のマシュー・フィッツシャー氏らの研究によると、ネット検索が出来る人はそうでない人より「自分を賢く感じている」傾向にあるらしい。ネット上では「自分の知っていること」と「知っていると思っ

ていること」が曖昧になっているようです。自分が「そのことを知っている」ということと、「そのことを検索できる」とことは違うのですが、どうもそれが混同しているようです。もちろん検索できることは大事なのですが、その後**自分の知識になるかどうか**だと思います。スマホが常に手元にある環境がこうした勘違いを生んでいるとも言えます。「**知ったかぶり**」には、気をつけましょう。



まずSNSをやってみよう！

パソコンを使いこなしたい、でも何から手を付けていいのやら…とお悩みならSNSやブログがお勧めです。パソコンの基本の文字入力を始め、操作の基本が詰まっています。インターネットの見た、写真の扱い、パソコンの操作が盛りだくさんです。自然にパソコンに慣れてきます。SNSなら新しい人と(ネット上ですが)会うこともできます。

これも、新しいことを学び、人と会い、感動する、のひとつになると思います。

教室のWebページは左記アドレスまたは、QRコードからどうぞ。

<http://pc-iwakura.com/>



See you next month